Toyota Technical College Tokyo News

高尾の緑

Vol.106

学校法人トヨタ東京整備学園
専門学校
トヨタ東京自動車大学校
Toyota Technical College Tokyo
国土交通大臣指定・文部科学大臣認定
〒193-0944
東京都八王子市館町 2193 番地
TEL 042-663-3211　編集責任者　安藤祥二

SUPER GT FUJI SPRINT CUP 2011.11.11~13 メカニック体験

チームワーク

予選が終わった時点での結果は、期待とは裏腹に、重苦しい空気が漂っていました。しかし、本番のレースでは、レース初日は「三位」、2日目は「六位」、総合で「三位」という素晴らしい結果をチームの一員として共有する事が出来ました。チーム一丸となり、誰一人諦める事無く勝ちに行った結果だと思います。

ドライバーが満足する車に仕上げるために、一切の妥協を許さないメカニックの姿や、作業スピードの速さと正確さに終始感動しっぱなしでした。

今回の体験で自分としても様々な経験値を上げることが出来ました。

1級自動車科　大久保　駿

初めてのエコカーカップ そして優勝！

私は、今回初めてエコカーカップに参加しました。三年間、自主研究として燃費を研究してきた成果を存分に発揮する事が出来ました。

今回のレースは、メンバー全員が学生だけの参加でした。私は、チーフメカニック、そしてコドライバーとして参加しましたが、一人一人が「意識し、行動し、協力し合えた事」が、優勝への鍵となりました。

春のレースでも良い結果が残せる様に頑張ります!!

1級自動車科　渡辺　健斗

~Eco Car Cup 2011 秋~ クラス優勝！

Vitz Challenge 愛知・新城

ヴィッツ チャレンジ

10月23日（日）愛知県新城市にて開催されたヴィッツチャレンジ第5戦に1台体制で出場してきました。

全日本ラリー選手権との併催とのこともありギャラリーの数も多く、とても華やかな雰囲気でした。

今回、これが最後のレースとなる4年生の土屋・村田ペアが見事3位完走を果たし、シリーズを2位で終えることができました。

ドライバー
1級自動車科　土屋　良平

今年は様々な問題もありましたが、皆で協力し悔いなく終わる事が出来ました。

コ・ドライバー
1級自動車科　村田　康次

4年生は今回で引退となりますが、後輩の今後の活躍に期待しています。

私達の活動を応援して頂きありがとうございました。

トヨタ2000GT EVプロジェクト

トヨタ2000GTがEVに!?

これまで、トヨタスポーツを2台EVにコンバートしてきましたが、今度はトヨタのスポーツカーの雄2000GTのレストア（新品のようにピカピカにすること）とEVへのコンバートが始まりました。

ここに、バッテリーとモーターが載ります。

現在、ボディーはプライマー（錆び止め）塗装の状態です。

こんな状態で学校にやって来ました。思ったより綺麗ですね。

お問い合わせ・イベント申込みは「学生部」まで！
なろう　ー　1級・2級
フリーコール 0120-76-1929
トヨタ大学校　検索

2012年も 在校生がご案内 楽しいオープンキャンパスが待っている！

施設見学（本校）
要予約
1/14（土）・28（土）
2/11（土）・25（土）
3/23（金）・24（土）・25（日）

体験授業 in 仙台
要予約
3/29（木）・30（金）
10:30~15:00

トヨタ東自大の応援制度
詳細はお問い合わせ下さい。
1.受験生紹介制度　卒業生の方・関連企業の方
2.寮費無料！〈定員あり〉　校内寮：1年次の室料
3.学費サポートプラン〈オリコ〉追加　在校生も利用中

学園祭特集！

今年で第19回目となるトヨタ学園祭、テーマは「トヨタ東自大の元気（～自動車の力～）」2日間を通して多くの皆さまへ日頃の成果と元気な姿を披露することができました。また、各イベントにたくさんの元気を頂きました。ご来場なされた皆さま、本当にありがとうございました。

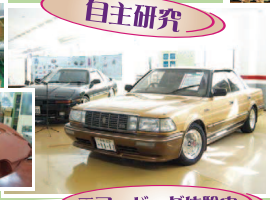
チャリティ縁日

模擬店

山形県芋煮会

ミニ四駆

自主研究



ダンス

大声コンテスト

エアーバッグ体験中

献血・募金

交通遺児等育成募金
159,428円
東日本大震災義援金
19,393円
ご協力頂きました皆様、
本当にありがとうございました。

メカコン

優勝　1・2組チーム
2年 1組　向山　京太郎
2年 2組　岡本　洸
1年 1組　反後　慶一
1年 2組　望月　一憲
準優勝　3・4組チーム
第3位　13・14組チーム

初日は、多くの来賓の方に来て頂きました。
（写真中央、黒須八王子市長）

バンド

オールドカーパレード

レクサスチームクラフト トークショー

初日にレクサスチームクラフトの皆さんによるトークショーが開催され、橋本代表をはじめエンジニアやメカニックの方々から貴重な話しを聞くことができました。　途中からはレーシングドライバーの脇阪寿一選手も加わり更にヒートアップ！

D'STATION Keeper
SC430

レクサスチームクラフト デモンストレーション

今回の目玉イベント！現役のレースマシンを使ってのタイヤ交換作業の体験やエンジン始動など に続き、レースクイーンの撮影会も行われ、大盛況でした！

車両展示

エクストリームバイク

校内最速王決定戦

欧州研修
一級自動車科　4年

メルセデスベンツ博物館にて
本人右から３人目

今回、私たちは5泊7日でヨーロッパへ研修旅行に行ってきました。

ドイツのメルセデスベンツ博物館では、昔の車や環境に配慮したエコカー、歴代のレーシングカー等、様々な車両が展示されていて、もあります。今回の旅伝統ある会社の歴史を深く知る事が出来ました。ベルギーのTMEでは、ヨーロッパでのトヨタ自動車の取り組みや、ヨーロッパにおける車社会の現状など、興味深い話が沢山聞けました。施設の中も見学をさせて頂き、高度な故障診断に使用する機器や、珍しい機器を見ることが出来ました。

私はトヨタ自動車に就職内定しており、将来TMEで働く可能性います。

最終日は1日自由行動で、自分達が決めた場所に自分達で行くという日本では簡単な事ですが、日本語が通じない中、電車の切符を買うのも一苦労でした。

私達はシャンゼリーゼ通りを楽しみながら、オスマン通りにあるパリ最大のデパート『Galeries Lafayette』に行く予定でした。シャンゼリーゼ通りは朝早かった為、開いているお店が少なかったのですが、街並みがすごくキレイで、前日の夜にバスで見た景色とはまた違った雰囲気でした。

道に迷いながら2時間かけてデパートに着きましたが、1893年に世界で最初に出来た百貨店なだけあって、外観も内観も豪華で、会話に苦戦する事もありましたが、すごく充実した1日でした。

1週間あっという間で当に楽しい思い出しかなく、自分にとって最高の思い出が出来て良かったです。

1級自動車科　竹添　佑香

遠くにエッフェル塔が見えるハズ？

Galeries Lafayetteの店内にあるクリスマス・ツリー

TME（トヨタ モーター ヨーロッパ）前で

1級自動車科　柴田　利憲

「被災地に車を届ける会」
～八王子～

震災が起きた時、自分は学校で授業を受けていました。今まで経験したどの揺れよりも大きいものでした。

寮に帰ってテレビでニュースを見た時、車や家が津波に流されている映像が流れていました。その映像を見て改めて今回の地震の規模がとんでもなく大きいものだということを思い知りました。

東北での被害が大きいことを知り、東北出身の自分が何かできることは無いかと思っていた時に、この「被災地に車を届ける会」を知り、参加してみようと思いました。

都会と違い車が無いと生活も大きく変わってきたりします。自分たちが整備した車が相手に送られ、それがその人の何かに役立つ手助けになってほしいと思います。

今回の体験をきっかけにして被災地支援のためのボランティア活動に関わっていきたいと思いました。

自動車整備科　吉田　朋弘

◆◆◆◆◆◆◆◆

「被災地に自動車を届ける会」
八王子にある「クラシックカー実行委員会」が発端の活動。被災者に車を無償で届ける等を行っている。今後も継続的に活動予定。

LETTER'S From 卒業生
専門科22期生（平成6年卒）岩下 大地さん

私は小田急線町田駅西口近くで飲食店を経営しており、4年前に良質なカキの産地である岩手県大船渡市赤崎町で勉強をさせていただきました。

大船渡市は3月11日の津波で大きな被害を受け、町の中心部は壊滅し、かなりの方が家や会社を失いました。

現地までの道路状況、今現地で不足している物等を問い合わせ、物資を届けに行きましたが、現地の状況はテレビで知る以上に悲惨で、長期的な支援が必要と感じました。私の店ではパイナップルを切って串に刺した物を一本100円で販売して、その売り上げ金を復興のお手伝いの資金とさせていただいており、学園祭でもパイナップルを販売させていただきました。

今回の学園祭での売り上げ金を役立たせて、仮設住宅で正月を迎える方々に少しでも気持ちの良い正月を過ごしていただき、来年こそは良い年になってもらいたいと思っています。

東日本大震災　被災地支援

全国技能コンクール見学
ボデークラフト科・ハイブリッドEV科

研修旅行で全国ネッツ店第29回サービス技術コンクールを見学しました。

私は、配られたパンフレットの中で、一人の板金のメカニックに興味を惹かれました。その方は私と同じようにアガリ症だそうで、他人事とは思えなかったからです。

観客席から見ていると、本当に緊張している様子で、作業ができる状態ではなさそうに見えました。

ところが、「作業開始」のアナウンスと同時に震えはとまっており、まるで別人でした。

私たちは、早く作業を行うと手順を省略したり、乱雑に作業してしまいがちですが、プロは違いました。

一つ一つの作業が的確で、作業姿勢も美しく、常に次のことを考えて行動し作業の合間に、清掃までしてムダに時間を使っていません。

仕事をするとはこういうことなんだ、と痛感させられました。

私もいつかあのような舞台に立てるようになりたい。否『あの舞台に立ちます』

ハイブリッド・EV科　富田　真規

日本EVフェスティバル
～ハイブリッドEV科 自動車研究部～

まさかのトラブル発生！

11月3日、日本EVフェスティバル。我が校のトヨタスポーツEVツインは、自走できない状態で東自大へと帰ってきた。

モーターの破損。60分耐久レースが始まってから10分ほどで起きた故障。信じられない思いで実況の声をピットで聞いていた。今回は優勝を狙えたはずだったので、当然のごとく落胆した。

しかし、今回のことをキッカケに目標を新たにし、よりクルマの完成度を高めて、再び優勝を狙えるように、これからも部活に励んでいきたい。

1級自動車科　竹本　悟

山岳耐久レース～クロスカントリー部～

私は初め、72Kmの山道を走破する日本山岳耐久レースを舐めて考えていました。

真夜中の山道を歩くのは想像以上に不安で、道が間違っていないか常にドキドキした気持ちで走りました。

一番辛かった場所は大岳山の登りで、岩場が続き足に疲れがきました。そしてやっとの思いで辿り着いたゴールは、なんとも言えない気持ちと達成感がありました。

この大会に参加して、やればやった分の喜びや達成感があると言うことがよく分かり、とてもいい経験をすることができました。

1級専攻科　廣戸　大輔